

第973回教育委員会（定例会）会議録

公開

1 日時場所

平成21年12月24日（木）午後1時15分
県庁教育委員会室

2 出席者

委員：伊藤委員長、栗田委員長職務代理者、外山委員、阿部委員、鬼嶋委員、
武藤委員（教育長）

事務局：武石教育次長、岡田教育次長、井上総務課長、丸山財務課長、佐野福利課長、
川端義務教育課長、中山高等学校教育課長、桑原生涯学習推進課長、
大上文化行政課長、茂木保健体育課長、企画主幹、総務・財務・福利・
義務教育・高等学校教育・生涯学習推進・文化行政・保健体育各課長補佐、
総務課総務係長、総務課総務係主査

3 開会

午後1時15分

4 議事日程の承認

第973回教育委員会の議事日程及び議事順序について承認した。

5 会議録（公開分）の承認について

第972回教育委員会（定例会）会議録（公開分）を承認した。

6 報告

（1）平成21年12月県議会における質問・答弁等について、関係課長から報告があった。
なお、次のとおり質疑・意見等があった。

委員長
義務教育課長

今後、国の学力調査は縮小される見込みだが、本県の対応は。
悉皆から抽出に変わると、基本となる児童生徒一人ひとり、学校、
市町村単位の傾向を把握することができなくなる。別の方法を考えて
いく必要がある。

委員長
義務教育課長

学力向上に関して、少人数学級によるメリットを示す確かなデータ
はないとのことだが。
全国学力・学習状況調査の結果を分析したところ、学級人数が少ない
こと、多いことによる明らかな差異はなかった。

委員

奨学金の拡充については、制度が緩和されたことを生徒、保護者に
周知徹底すること。

（2）公立小学校教頭の人事異動について、義務教育課長から報告があった。

7 その他

（1）障害者雇用の状況について、総務課長から報告があった。
なお、次のとおり質疑・意見等があった。

委員

新たな対策について検討しているとのことだが、目標数値について

総務課長

も上げていくのか。

今年度の全国平均の雇用率は1.70%であり、本県の平成23年度の目標値である1.65%を既に上回っている状況であることから、目標数値の見直しを行うとともに、いかにすれば障害者の雇用率を上げることができるか具体的に検討したい。

委員
総務課長

具体策については、いつ頃提案があるのか。

現在、新たな職域の開発や知的障害者の方をいかにすれば採用できるか等について検討しており、年度内に提案したいと考えている。

委員
総務課長

職域の開発について、他県の状況は。

他県では、正職員の現状調査を行うことによって雇用率が改善している例がある。

委員長

障害を持つ方で教員を志望する方は非常に少ない。大学で教職養成課程にある者へのPRも必要だが、それ以前に高等学校の段階で教職養成課程に進むようPRも必要では。

教育長

大学の教職養成課程に進む者を増やしていかなければ改善には結びつかない。大学進学の際に、教職養成課程という選択肢もしっかりPRしていかなければならない。

(2) 平成20年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の結果について、義務教育課長及び高等学校教育課長から報告があった。

なお、次のとおり質疑があった。

委員
高等学校教育課長

経済的理由による中途退学者はどのくらいか。

昨年度は数名である。この数名も単一の理由というよりは、いろいろな理由が組み合わさって中途退学に至ったものである。単純に経済的な理由によって学業が続けられなくなることはあってはならないと考えている。

委員

児童生徒の自殺者が、全国では減少傾向にある中で、本県は増えているが、どのように受け止めているか。

義務教育課長

16年度から20年度までの5年間を見ると、小学校では0人、中学校では5人であり、年度別では多いときは2人、少ないときは0人である。特に増加してはいないが、残念ながら断続的に発生している。

高等学校教育課長
委員

高等学校についても傾向は同じである。

暴力の件数について、特定の学校で繰り返し発生しているとのことだが、問題を起こす生徒はいつも同じなのか、それとも広がっているのか。

義務教育課長

暴力行為発生件数の多い上位10校で全体の43%を占めており、中学校全235校のうち上位10%の学校で全体の7割弱の件数を占めていることから、特定の学校で集中している状況である。また発生状況については、数人の生徒による繰り返しという状況である。過去の「荒れる学校」のように、学級全体、学校全体が崩壊状態となって荒れるというような状況ではないと考えている。

委員
義務教育課長

小学校の発生状況はどうか。

全体としては減少傾向であるが、器物損壊と対人暴力が多い状況である。自分の感情をコントロールすることができず、人や物にあたるケースが多い。

委員

特定の学校における暴力に対して、警察等関係機関との関わりはどのような状況か。

義務教育課長

警察や児童相談所等ときめ細かな情報共有をしながら対応してい

委員
義務教育課長

る。

暴力の中身や質が変わってきているのではないか。
心のコントロールができなくなると、自分では止められない、周りが止めないと続けて何回もやってしまうという傾向がある。机、椅子を持って投げる等危険な行為も見られる。

以上で、公開分の日程を終了した。

第973回教育委員会（定例会）会議結果

非公開

- 8 公開分に引き続き、非公開と決定した議事に入った。
- 9 会議録（非公開分）の承認について
第972回教育委員会（定例会）会議録（非公開分）を承認した。
- 10 議案審議
第73号議案 教育職員免許状の取上げ処分に係る聴聞の主宰者の指名について、審議の結果、全員異議なく原案どおり可決した。

第74号議案 新潟県立学校条例の一部改正について、審議の結果、全員異議なく原案どおり可決した。

第75号議案 教職員の人事措置について
下越地方県立高等学校男性教諭の体罰に係る人事措置（戒告）について、審議の結果、全員異議なく原案どおり可決した。

第76号議案 教職員の人事措置について
中越地方県立高等学校男性教諭の性非行に係る人事措置（免職）について、審議の結果、全員異議なく原案どおり可決した。
- 11 報告
(3) 平成22年度県立学校入学者選抜について、高等学校教育課長から報告があった。
- 12 その他
(3) 平成22年度当初予算編成過程の公開について
(4) 新年度予算の要求方針について
以上2件は、関連する内容のため、総務課長及び高等学校教育課長から一括して説明があった。
(5) 教育行政上の諸課題について
意見交換された事項は、次のとおりである。
(1) 今後の教育委員協議会の持ち方について
- 13 議案審議
第77号議案 平成22年度用県立高等学校教科用図書採択変更について、審議の結果、全員異議なく原案どおり可決した。
- 14 閉 会
午後3時10分